

△ミドリンP点眼液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 トロピカミド・フェニレフリン (U) tropicamide, phenylephrine hydrochloride 【分類】 検査用散瞳点眼剤

【単位】 △10mL/本

【用法】 ■散瞳：1回1～2滴を点眼するか、1回1滴を3～5分おきに2回点眼 ■調節麻痺：1回1滴を3～5分おきに2～3回点眼

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (1) ただし、高血圧や糖尿病患者では悪化に注意 (1)

【特徴】 副交感神経抑制作用を有するトロピカミドに交感神経興奮薬である塩酸フェニレフリンを配合した検査用散瞳剤。

【主な副作用・毒性】 ショック、眼瞼炎、そう痒感、発疹、眼圧上昇、結膜炎、口渇、悪心、嘔吐、頻脈、血圧上昇など

【MW】 トロピカミド284.35, フェニレフリン塩酸塩203.67

【効果発現時間】 速い (U) 【最大効果発現時間】 散瞳：15～20min, 調節麻痺：20～30min (1) 20～40min 以内 [トロピカミドのデータ] (U)

【効果持続時間】 散瞳：約1.5hrで縮瞳し始め、5～8hr後にはほぼ復元。調節麻痺：3hr前後ではほぼ回復、4～5hr後に正常に戻る (1) 毛様体筋麻痺 [調節麻痺] (残存) は2～6hr、散瞳作用 (残存) は約7hr [トロピカミドのデータ] (U)

【備考】 緑内障及び狭隅角や前房が浅いなどの眼圧上昇の素因のある患者には投与禁忌 (急性閉塞隅角緑内障の発作を起こすことがある)。小児には慎重に投与すること (全身の副作用が起こりやすい)。

【更新日】 20180109

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。